

「幻の安土城」復元プロジェクト

～安土城「天主」復元の方向性と方法～

安土城「天主」復元の方向性と方法～意見募集等の結果

(1) 令和2年7月13日 第一回見える化検討会議の内容

- ・ 4案の提示と方向性について議論

【安土城見える化の4つの案】

第1案 史跡等における歴史的建造物として「復元」する案

第2案 史跡等における歴史的建造物として「復元的整備」する案

第3案 現地（史跡地）以外の場所に「再現」する案

第4案 デジタル技術を応用し、「再現」する案

事業の方向性：知事コメント

- ・ 安土城は、織田信長が掲げた天下布武の理想を日本全国、そして世界へと発信する拠点。
- ・ これまでの城とは全く違った思想や想いが詰まった歴史的資産、歴史的浪漫の結晶。
- ・ どのような城かについては確かな資料が得られておらず、諸説ある状況。
- ・ 特別史跡なのでむやみに造ったりはできない。調査を積み重ねての実像解明が必要。

案についての感想：小和田アドバイザーコメント

- ・ 天主を見てみたいというのは多くの人の願望。だが裏付ける資料がなく、実現は困難。
- ・ 安土城は数ある日本の城の中でも他とは違う別格の城。いい加減なことをしてはいけない。
- ・ 最近建物がなくても城を楽しむ人が増えている。城跡の整備を十分喜んでもらえる。
- ・ 城ブームの中、石垣や堀だけの城跡にも関心が集まり、安土城にとってチャンス。
- ・ デジタル技術による復元は研究の進展への対応が容易。

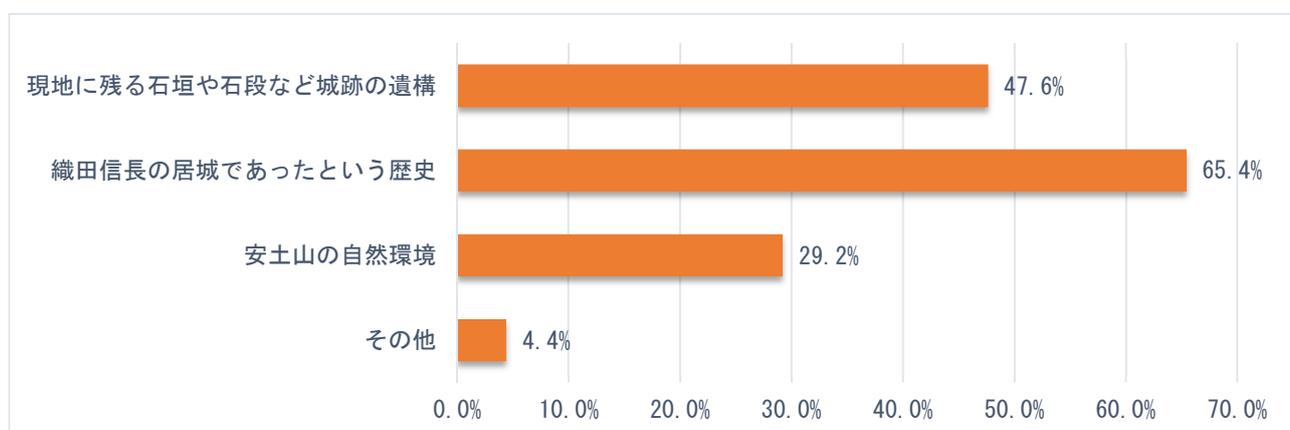
(2) しがWEBアンケート調査の実施結果

- ・期間：令和2年7月10日～7月19日
- ・対象：県内在住男女500名（18歳以上）
- ・安土城に関する4つの設問について、回答を求めた。

アンケート集計結果

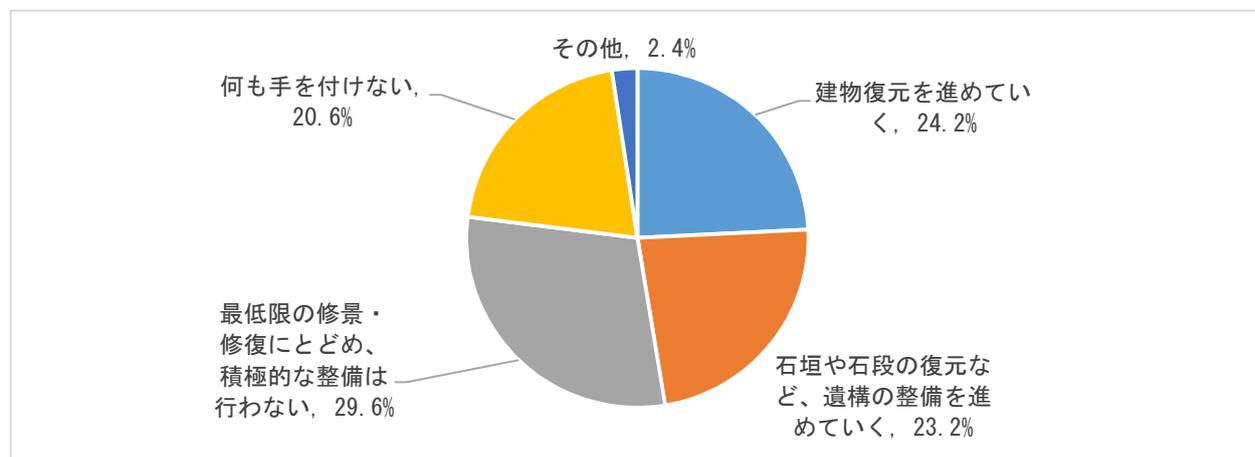
問1 あなたはどのようなところに安土城の魅力を感じますか（複数回答）

現地に残る石垣や石段など城跡の遺構	47.6%
織田信長の居城であったという歴史	65.4%
安土山の自然環境	29.2%
その他	4.4%



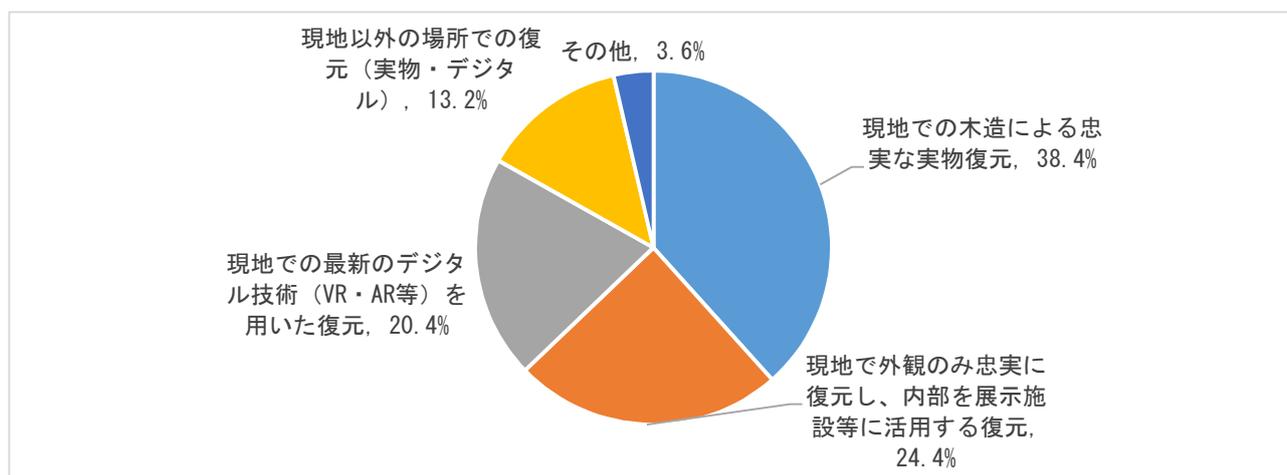
問2 安土城跡の整備についてどのように思いますか

建物復元を進めていく	24.2%
石垣や石段の復元など、遺構の整備を進めていく	23.2%
最低限の修景・修復にとどめ、積極的な整備は行わない	29.6%
何も手を付けない	20.6%
その他	2.4%



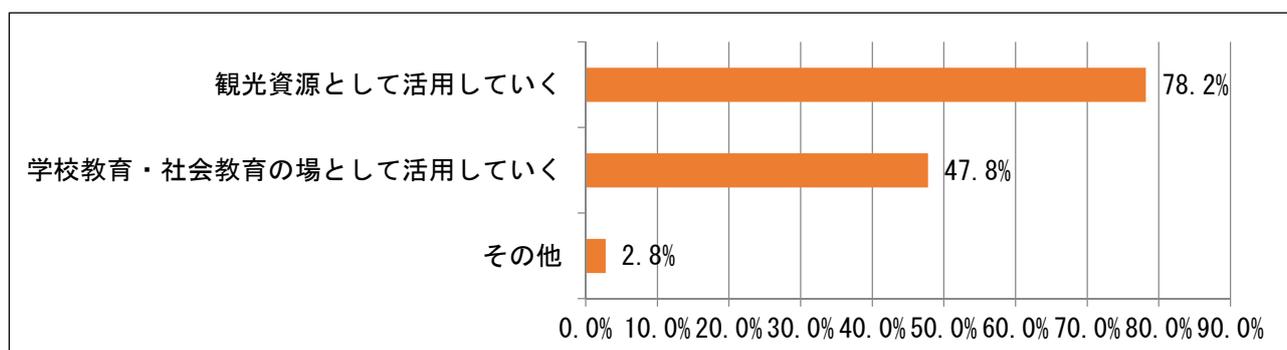
問3 安土城を復元するならば、どのような復元が望ましいと思いますか

現地での木造による忠実な実物復元	38.4%
現地で外観のみ忠実に復元し、内部を展示施設等に活用する復元	24.4%
現地での最新のデジタル技術(VR・AR等)を用いた復元	20.4%
現地以外の場所での復元(実物・デジタル)	13.2%
その他	3.6%



問4 安土城跡の活用についてどのように思いますか (複数回答)

観光資源として活用していく	78.2%
学校教育・社会教育の場として活用していく	47.8%
その他	2.8%



アンケート結果の分析

- ・安土山の自然環境より安土城の歴史に魅力を感じる人が多い。安土城が歴史遺産として認識されている。(問1)
- ・安土城の現状維持を基本に考える人が多い。一方で建物復元を望む声や積極的な整備を望む声も同程度存在する。(問2)
- ・復元するならば忠実な実物復元を望む声が他よりも多い。(問3)
- ・整備、復元については、回答が極端に偏ることなくまんべんなく分布している。(問2・3)
- ・建物を復元しなくても観光に活用できると認識されている。(問2・4)

(3) 令和2年9月1日 滋賀県議会教育・文化スポーツ常任委員会報告での意見
議題：「幻の安土城」復元プロジェクト見える化の方向性と方法の検討（中間報告）

委員より出された意見

- ・県内の城の完成形ともいえるべき国宝彦根城があるのに安土城の復元をするべきではない。復元の問題は安土城だけでなく、県内の城郭の歴史全体の中で考えてもらいたい。
- ・こういったプロジェクトは県事業ではなく民間主体で進めるべき。
- ・史跡としての安土城の価値をもっと伝えるべき。
- ・450年祭として盛り上げる事業と、文化財としての事業は分けて考えるべき。文化財は地道な調査に徹し、復元プロジェクトは観光事業として進めるべき。
- ・地元は安土城再建で盛り上がり、連絡調整をしっかりとしながら進めてほしい。
- ・わくわくすることが何より大切。夢と活力をしっかりと持って、できていない部分はしっかりと調査しながら、盛り上げていてもらいたい。

(4) 令和2年9月5日 近江八幡市安土城復元推進協議会総会での報告、意見聞取

総会での議決事項

以下の議案を承認 県と足並みを揃えて取り組みを進めることを確認

- ・第1号議案 平成31（令和元）年度活動報告
築城400年祭（昭和56・1981年）に係る記録収集と屏風絵探索プロジェクト（平成8年度・2006年度）に係る資料収集
- ・第2号議案 当面の活動方針（案）について
安土城築城450を迎える令和8年（2026年）度までの期間を当面の活動期間として、以下の事業に取り組む。
 1. 復元推進にかかる情報収集と調査研究及び普及啓発活動の実施
 2. 全山発掘調査再開と石垣保全に向けた要望活動の実施
 3. 築城450年を市全体プロジェクトとして取り組むための気運醸成を図る。

総会において委員より出された意見

- ・安土城復元プロジェクトは地元として期待の持てるプロジェクト。県市一体となって取り組みたい。応援している。

安土城見える化の4案に対する意見

- ・第1案を追求しながら第4案を並行して進めていくのがよい。財源は民間から募る。
- ・安土城の見える化は実施する価値がある。復元に近い方が人は支持する。いい加減なものは駄目。復元に向けての努力が大切。努力の過程は450年祭に何らかの形にし、世界に発信する。
- ・安土城の石垣はすばらしい。これを見せるために保全整備に取り組んでほしい。
- ・まずは調査によって事実を積み上げていくことが大事。
- ・調査研究を続けても、100年しても答えは出ない。復元とは元に近づけることであり、どこかで踏ん切りをつける必要がある。

(5) 見える化に対する意見募集の結果について

- ・意見募集の期間 令和2年9月3日～10月5日
- ・寄せられた意見 120通

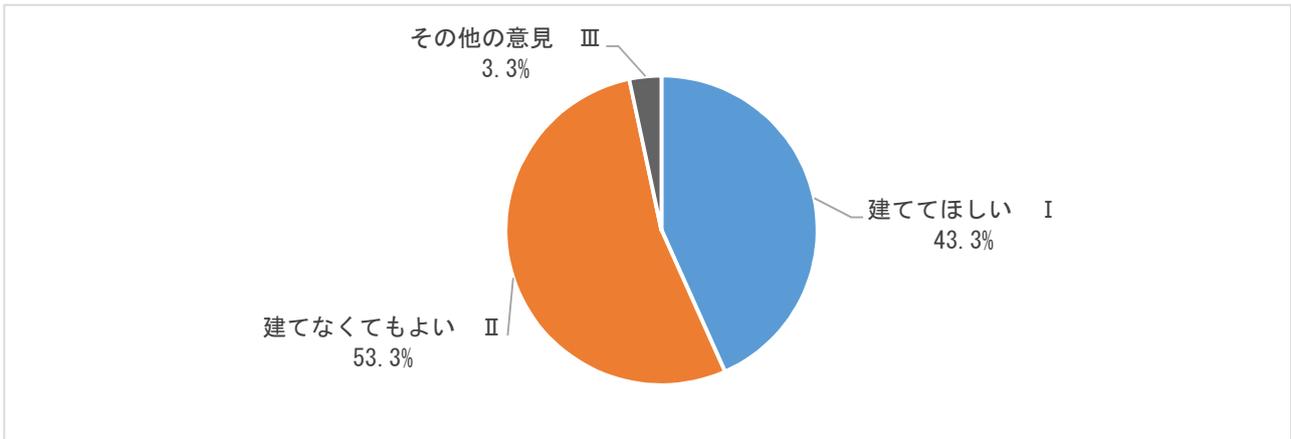
【寄せられた意見の住所別分布】

滋賀県外	福島県	1	滋賀県内	近江八幡市	20	不明	6
	東京都	4		東近江市	7	海外	1
	神奈川県	4		大津市	20		
	福井県	2		彦根市	3		
	長野県	1		長浜市	4		
	岐阜県	3		草津市	8		
	静岡県	1		守山市	3		
	愛知県	2		栗東市	3		
	京都府	11		甲賀市	2		
	大阪府	3		野洲市	3		
	兵庫県	1		湖南市	2		
	福岡県	1		高島市	1		
	12 都府県	34		豊郷町	1		
				多賀町	1		
		不明	1				
		14 市町	79				

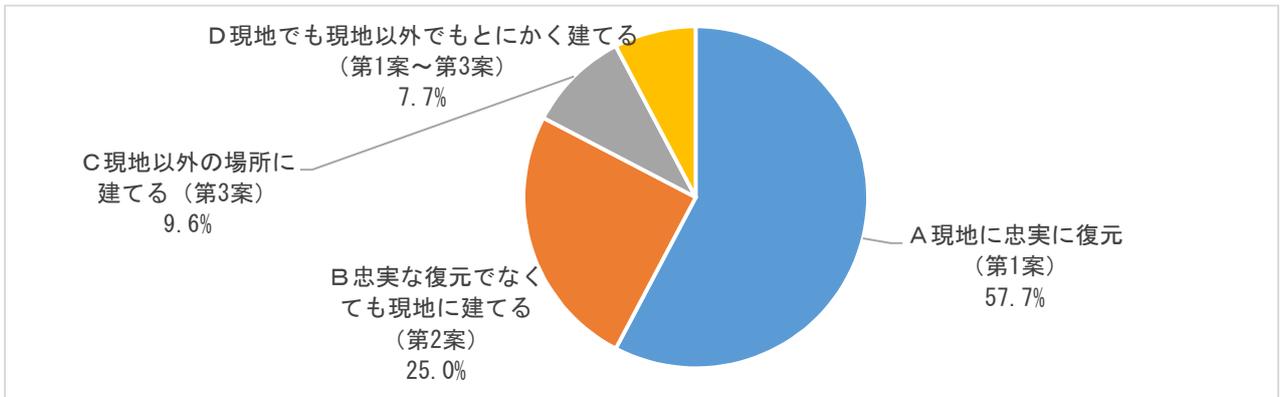
意見集計結果

意見内容		応募数	
建ててほしい I	A現地に忠実に復元 (第1案)	30	25.0%
	B忠実な復元でなくても現地に建てる (第2案)	13	10.8%
	C現地以外の場所に建てる (第3案)	5	4.2%
	D現地でも現地以外でもとにかく建てる (第1案~第3案)	4	3.3%
	建ててほしい I 合計	52	43.3%
建てなくてもよい II	Eデジタルがよい (第4案)	38	31.7%
	F 4案すべてに反対 調査・整備を進める	12	10.0%
	G 4案すべてに反対 何もしない	10	8.3%
	H 4案すべてに反対 プロジェクトそのものに反対	4	3.3%
	建てなくてもよい II 合計	64	53.3%
その他の意見 III	I その他の意見 III	4	3.3%
		120	100.0%

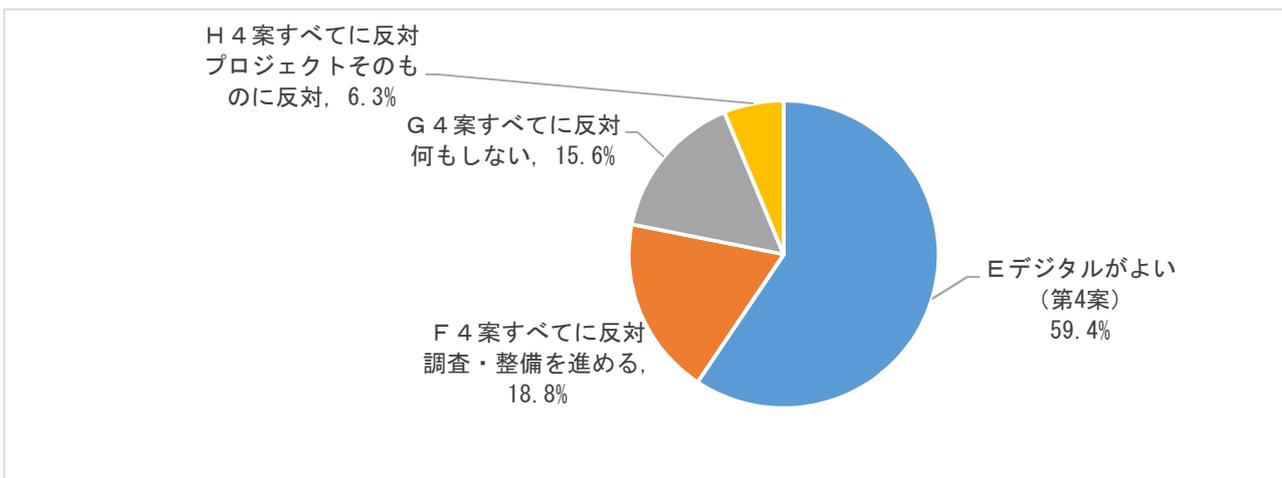
【全体 I～Ⅲ内訳】



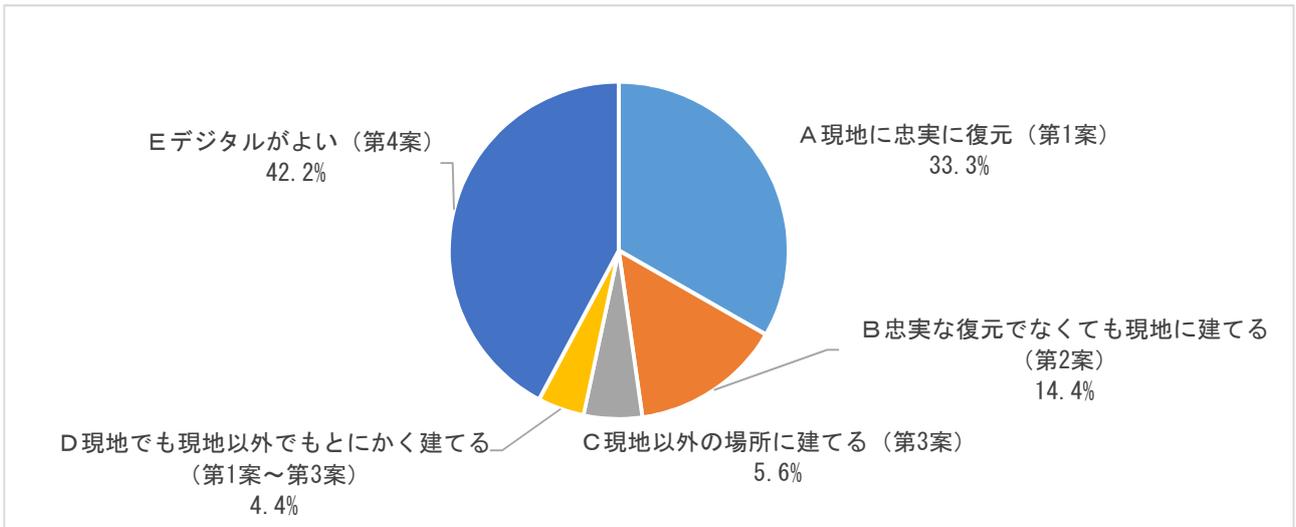
【建ててほしい I 回答A～D内訳】



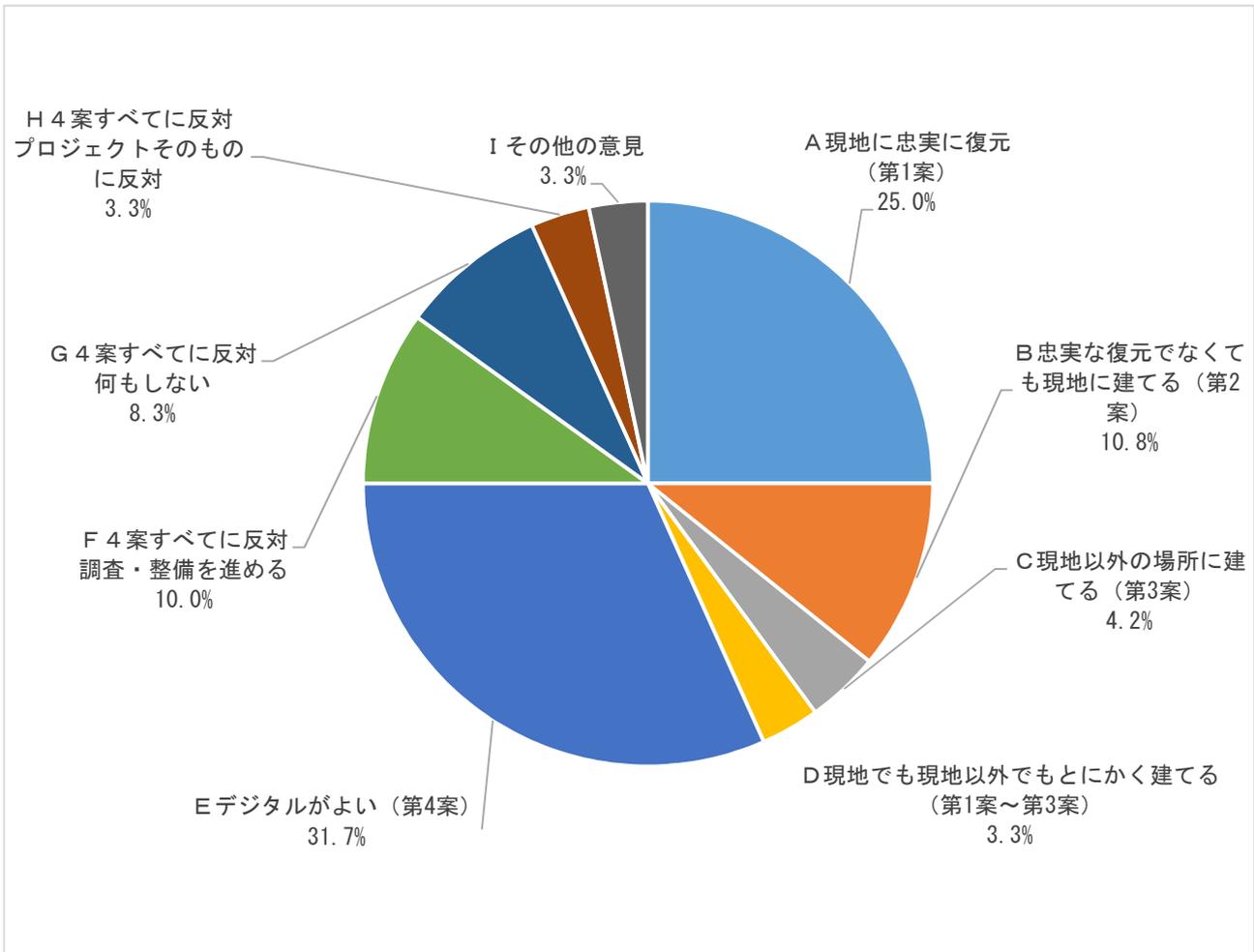
【建てなくてもよい II 回答E～H】



【案1～案4詳細 回答A～E】



【全体詳細内訳】



寄せられた主な意見

A 第1案に賛成

- ・安土城復元は滋賀県民の悲願。ぜひ進めてほしい。
- ・天主だけでなく大手道から伝羽柴秀吉邸・伝前田利家邸を復元すれば経済効果大。
- ・第1案でなければ資金を投入する意味はない。
- ・建設に必要な多量の木材は林業活性化のチャンス。伝統工芸復活にもつながる。
- ・すでに資料館があり、VRシアターや、天主の一部復元もある。城跡だけが手つかずなので、城跡に復元することを希望。
- ・復元すれば貴重な遺構を破壊するかもしれないが、一般の人には遺構があってもイメージしにくい。目の前に実際に城がある方が感動する。
- ・今滋賀県に一番欲しいプロジェクト。
- ・復元に向けて調査研究と安土城に親しむ取り組みを継続する。

B 第2案に賛成

- ・信長の館の復元を利用して、もとあった場所に建てればよい。
- ・今判明している範囲で限りなく復元して令和の安土城を築くことが必要。
- ・復元は国民の誇りや観光資源としての魅力向上につながり、文化財の積極的活用につながる。
- ・積極的にアミューズメントの要素を取り入れ、彦根城、坂本城をデジタルで再現し、滋賀県を一つのアミューズメントパークとする。

C 第3案に賛成

- ・旧安土町役場の西の山上に天主を再現すれば、四周から遠望できる。
- ・第1案・第2案は制限が多く、費用が高額。
- ・安土城天主台横の伝二の丸に天主を復元。文化財保護の観点から天主台に復元することは難しい。

D 第1案～第3案いずれでもよい

- ・滋賀には観光客を集客できる名所が少ない。信長由来の安土城があれば集客増加につながる。
- ・外観のみでいいので天主をつくってほしい。復元すれば県外からも観光客がくる。

E 第4案に賛成

- ・石垣を見せるだけで圧巻。天主復元は実物では可能性が低い。VRの方がいい。
- ・天主だけでなく、城全体を復元してほしい。そのためにはまず遺構全体の整備を。
- ・安土城の遺構は唯一無二。保存保護が大切。石垣などの遺構は日本史上特別な価値を有しており、安易な建物復元ではなく、第4案がよい。
- ・当時の形状に不明点が多い中、誤った可能性がある形状で復元することは将来に課題を残す。
- ・第1～3案では推定が多くなりすぎる。また、建てた後で新たな資料が出てきても反映させられない。第4案ならそのことにも対応可能。
- ・城跡を後世の人に残すために全山発掘調査や石垣保全、樹木の伐採や環境整備が先決。そのためには長い時間と関係者の協力が必要。
- ・CGなら遺構を破壊することなく、あらゆる層が楽しめる。

- ・やるならヴァーチャルがよい。安土城を見てみたいのは夢だが、信長の作った本物でなければ意味がない。
- ・ガイドとして活動する中で、熱心な客ほど復元不要と考えていると感じている。
- ・安土城は現地が見所であり、現地に再現するのは反対。最新のVR技術なら賛成。
- ・VRなら城だけでなく安土の町を再現することも可能。
- ・第4案であれば、史跡を傷つけることなく、新たな発見があれば変更も可能。人類の使命として歴史的史跡は残さなければならない。破壊は未来の人間から見ても許されない。
- ・安土城の歴史的意義は単に天主だけでなく城下町を含む全空間に及ぶ。天主再現だけでは遺跡としての価値は減少する。最新のIT技術であれば、その意味はほぼ達成できる。
- ・再現のベースとなる資料の調査や考察は終わりのないもので、持続的努力が必要。
- ・安土城跡の環境整備はまだ不十分。デジタル博物館の整備や城下町と一体化した整備が必要。

F 4案すべてに反対 調査・整備を進める。

- ・調査が不十分な現状、まずは基礎資料の収集を。
- ・地元の観光、活性化のために安土城天主の復元をという想いは理解できるが、今ある遺構を保全することも大切。
- ・乏しい資料での復元は模擬天守に過ぎない。現在発表されている復元案も事実であるかのように受け取られ、誤解を与えている。
- ・学術的に価値がある資料を探すことに注力すべき。まずは学術研究を支援すべき。
- ・城跡に建てるなどありえない。違う場所に建てるなど論外。屏風探しよりも未調査の現地調査をすべき。
- ・遺跡に建物を建てるのは反対。当時の縄張がよく認識できるように整備してほしい。
- ・歴史的価値のある場所に中途半端な建物建てるなど考えられない。そんな費用があれば、城跡の調査にまわし、意味ある復元が何十年何百年あとにできるようすべき。

G 4案すべてに反対 何もしない。

- ・安土城の復元は国宝彦根城が近くにあり、観光的メリットが薄い。復元するなら坂本城。
- ・中世城郭好きとしては、遺構はそのまま保存してもらいたい。誤解を招くような整備も好きではない。
- ・わからないものをわからないままにしておくのも歴史のロマン。
- ・現地に建物を建てるのは断固反対。偽物によって本物の遺構が隠されるのは本末転倒。本物を大事に保全してほしい。
- ・後世の人のために残すべきは模擬天守ではなく、遺構そのものである。

H 4案すべてに反対 プロジェクトに反対

- ・4案いずれも反対。必要ない。コロナ禍で日々の暮らしに困っている人が多い中、こうした事業は税金の無駄遣い。
- ・コロナ対策で巨額の前算が必要な中、優先順位の低い事業。

I その他

- ・天主が完成したら、イケメン戦国とコラボしてほしい。